

人とクルマと自然が、いつまでもいい関係でいられるように。

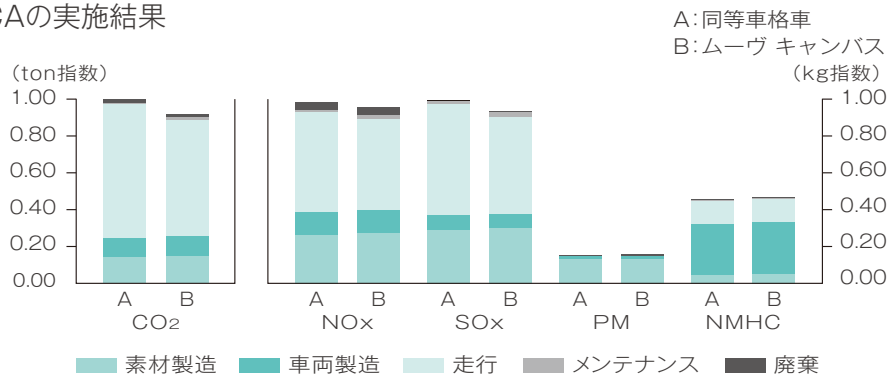
ダイハツは、生産から物流・販売、走行、廃棄に至るすべての段階で、「人」と「環境」に配慮したクルマづくりをめざしています。クルマそのものの低燃費化、低公害化を高次元で実現することはもちろん、ダイハツ工業全体でISO14001※1の認証を取得するなど、さまざまな角度から環境保全対策を推進しています。

Eco-VAS※2/LCA※3による環境負荷の削減

ダイハツでは2006年からEco-VASを導入し、環境負荷物質、リサイクル、LCA等の6つの環境目標を設定して開発を進めています。LCAでは素材製造から生産、走行、廃棄に至るライフサイクルすべてにおけるエネルギーの使用量や、CO2などの環境への排出を評価し削減に努めています。



LCAの実施結果



NMHC: 非メタン炭化水素 (Non Methane Hydrocarbons)
 PM: 粒子状物質 (Particulate Matter) SOx: 硫酸化物 (Sulfur Oxide) NOx: 窒素酸化物 (Nitrogen Oxide)
 ■ 自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで走行した場合の結果です。
 ■ ダイハツではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、評価結果は指数で示しています。
 また、CO2はtonレベル、それ以外の項目はkgレベルで排出されますので、指数を別に示しています。

※1: 国際標準化機構 (ISO) が1996年に制定したマネジメント (EMS) の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。 ※2: Eco-VAS=Eco-Vehicle Assessment System (自動車環境総合評価システム) ※3: LCA=Life Cycle Assessment ※4: 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。 ※5: 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 ※6: WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。 ※7: GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) ※8: フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下 (対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値) にすることを、製造メーカーに求められています。 ※9: 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。

環境負荷物質の低減

廃棄時に漏出する恐れがある環境負荷物質 (鉛、水銀、六価クロム、カドミウム) の削減は、日本自動車工業会 (自工会) の目標を達成しています。

ムーヴ キャンバスの環境仕様

車両型式	5BA-LA800S		5BA-LA810S	
	GBVF	GBGF	GBVF	GBGF
基礎情報	エンジン 型式	KF型		
	総排気量 (cc)	658		
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		
	駆動装置	2WD	4WD	
環境性能情報	変速機	CVT		
	燃料消費率※4	28.6	27.4	
	CO2排出量 (g/km)	81	85	
	参考: 燃費基準※5達成	2020年度燃費基準+20%達成		2020年度燃費基準+10%達成
	WLTC※6	20.6	19.6	
	市街地モード (WLTC-L) (km/L)	17.6	17.4	
	郊外モード (WLTC-M) (km/L)	22.6	21.2	
	高速道路モード (WLTC-H) (km/L)	21.6	20.3	
	参考: 燃費基準※5達成	2030年度燃費基準70%達成		
	排出ガス	適合規制・認定レベル 平成30年基準排出ガス50%低減レベル		
環境への取り組み	試験モード	WLTCモード		
	規制値・CO	1.15		
	認定値・NMHC	0.05		
	(g/km)・NOx	0.025		
	参考	環境対応車普及促進税制適合 ○		
	グリーン購入法適合	-		
	適合騒音規制レベル	加速走行騒音規制値: 72dB-A		
	エアコン冷媒の種類 (GWP値※7)/使用量 (g)	HFC-134a (1430※8)/300		
	車室内VOC※9	自工会自主目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)		
	環境負荷物質削減	鉛 *1	自工会2006年目標達成 (1996年比1/10 以下)	
水銀 *2	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止)			
六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)			
カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)			
自工会目標適用除外部品	*1. 鉛バッテリー (リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)			
リサイクル	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパーなど		
	リサイクル材の使用	フェンダーエクステンション、エンジンアンダーカバー、リヤホイールハウスライナー など		
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり		
環境負荷物質	鉛	電子基板・電子部品のはんだ、圧電素子に使用		
使用状況等				